

学校経営方針（中期経営目標）	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>○ 京都府北部の中核校として、伝統を継承しながら高い理想を求め続け、地域に信頼される学校づくりを推進する。</p> <p>○ 教育スローガン（校是）、教育方針、教育目標及び求める生徒像の具現化のため、全教職員が一体となって取り組む。</p> <p>○ 全教育活動をとおして、生徒と教職員がともに成就感と感動を味わえる、明るくさわやかな学校づくりに努める。</p>	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価アンケートの各目標値はほぼ達成し、質問「入学して良かった」へは95%以上の生徒から肯定的回答を得た。</li> <li>・授業アンケートの「授業満足度」は3.3/4.0であり、目標値3.2以上を達成した。</li> <li>・府立高校特色化事業を活用した国際交流会、国際講演会等さまざまな取組を通して国際理解が深まった。</li> <li>・教職員による朝の校門指導は、生徒の規範意識向上に繋がった。</li> <li>・生徒会中心に京丹後市主催丹後建国1300年記念事業等地域と連携した5つの取組を行った。</li> <li>・厳しい社会状況の中、早い段階で就職内定率100%を達成した。</li> <li>・国公立4大へは推薦7名を含め、延べ33名が合格した。</li> <li>・特別支援学校との連携等教育相談機能の充実に取り組んだ。</li> <li>・峰高だよりは年間18回発行、お知らせメールは80回配信、その他各種たよりの発行等により積極的広報活動を行った。</li> <li>・夏季面談はPTA共催のもと9割を越える保護者と面談を行った。</li> <li>・PTA総会を日曜日開催とし、参加者は昨年度より4割増となった。</li> <li>・学校公開の対象を広げ地域住民からの参加を得た。</li> <li>・各種資格試験、検定へは1000名を越える生徒が挑戦した。</li> <li>・地域の企業と連携した技術講習会等を積極的に行った。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動100への積極的参加と科学の教室に参加しやすい環境づくり</li> <li>・5分前登校の生徒への意識付けと日常の啓発活動の推進</li> <li>・自主学習定着への組織的取組と授業の質の向上</li> <li>・生徒指導に係る効果的な教職員研修会等の実施と学年部との連携強化</li> <li>・ボランティア活動、生徒会活動への積極的広報</li> <li>・部活動加入率向上への効果的な取組</li> <li>・進路指導における学年部との連携強化と地元を含めた新規求人の開拓</li> <li>・タイムリーな進路情報の提供</li> <li>・キャリアガイダンスの早期取組と事業の実効性の点検</li> <li>・生徒の保健室利用についての検討と校内美化の推進</li> <li>・読書週間を活用した読書活動の推進</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 府立高校特色化事業の取組等を通して国際社会に貢献できるリーダーを育てる。</li> <li>2 授業規律、自主学習習慣の定着及び授業改善に取り組み、学習の質の向上を図る。</li> <li>3 高い理想を持って将来を展望し、主体的に自己の進路実現を図ろうとする態度と力を育てる。</li> <li>4 人権・規範・美化意識を高めるため、全教職員が一致した指導を行う。</li> <li>5 部活動、特別活動の一層の活性化を図り、学習との両立を強化する。</li> <li>6 生徒理解を深め、個に応じた支援を行う。</li> <li>7 多様な広報活動等により家庭、地域との連携を密にする。</li> <li>8 地元産業界との連携等により、ものづくりへの意識を向上させる。</li> </ol>

評価領域	重点目標	具体的方策	目標値
府立高校特色化事業「グローバルネットワーク京都」	・アカデミック・プロジェクトによる学力の向上	・各種コンテストへの参加、検定受検を促す。 ・「科学の教室」への参加者を増加させる。 ・高大連携事業への参加を促す。	・参加、受検人数延べ800名以上 ・参加延べ人数100名以上 ・参加延べ人数50名以上
	・コミュニケーション・プロジェクトによるコミュニケーション能力の向上	・卒業生や企業人、留学生と交流する。	
	・コミュニティ・プロジェクトによる社会貢献意識の向上	・「地域活動100」と題し、地域と一体となった取組を推進する。	・地域活動参加事業数100以上
学習指導 (学力向上)	・主体的学習態度の育成	・生徒会との連携や毎月1回の「ノー遅刻デー」設定等により始業5分前登校を徹底させる。 ・各学期毎の授業規律週間を中心に、生徒の学習意欲を喚起する。 ・各教科からの課題と個別指導の充実により、学習意欲を高める。	・1日平均遅刻者数6.5名以内 ・〈生徒アンケート〉「生徒の学力向上の取組が充実」肯定率85%以上 ・自主学習時間調査平均1日2時間以上
	・教科指導力の向上	・年2回の公開授業週間及び教職員研修を効果的に運用する。	・〈生徒アンケート〉「生徒一人一人に応じたきめ細かな学習指導」肯定率80%以上 ・〈授業アンケート〉「授業は満足」全体平均3.2/4.0以上
生徒指導	・規範意識の向上	・定期検査と毎朝の校門指導により服装、頭髪指導を徹底する。	・頭髪指導生徒数クラス1名以内
		・学年部と生徒指導部との連携を密にし、問題事象の未然防止に努める。	・生徒指導件数1桁以内
		・各学期ごとの生活アンケートにより、いじめ事象の未然防止に努める。	・毎学期のアンケートで、いじめ事象件数0件
	・研修会による教職員間の意思疎通を図る。	・年間2回実施	
・特別活動の活性化	・通常の生徒会行事に加え、生徒会主催の自主活動による取組を実施する。	・年間5つ以上の取組を実施	
	・学年部、生徒指導部が連携し、部活動の加入率を向上させる。	・新入生部活動加入率80%以上	
	・ボランティア活動参加者の増加に向けた広報活動を充実させる。	・ボランティア参加者実人数120名以上 ・増加単位取得30名以上	

進路指導	・希望進路の実現	・入試、就職情報をタイムリーに提供する。 ・学年部、進路指導部、教科の連携を強化する。	・就職希望者全員内定 ・国公立大学合格者延べ40名以上 ・2年対象進路部面談大学、短大、医療系 学校志望者全員実施
	・系統的キャリア教育の推進	・卒業生等外部人材を活用した啓発ガイダンスを効果的に実施し、事後の評価、点検を行う。 ・教科と連携した学習や取組を工夫する。	・外部人材の招聘10名以上
人権教育	・人権意識の向上		・〈生徒アンケート〉「生命や人権を尊重する指導が適切」肯定率90%以上
健康・安全指導	・心身の健康を求める生徒の育成	・保健だより等の発行により、積極的に啓発する。 ・不調を訴える生徒に適切に対応する。	・生徒向け年間12回以上、教員向け10回以上発行 ・保健室来室者数全生徒数の60%以内
	・環境美化に協力し、安全な生活を求める生徒の育成	・委員会活動や行事を活性化させる。 ・委員会活動による安全指導を強化する。	・〈生徒アンケート〉「美化、清掃が行き届いた教育環境」肯定率85%以上 ・週1回の登校指導と校内巡回
	・教育相談関係生徒の実態把握と適切な支援	・教育相談会議を適切に開催する。 ・カウンセリングを受けやすい環境をつくる。	・10回の定例会議開催 ・月2回のカウンセラーとの打合せ
図書・情報活動	・本を読み親しむ生徒を増やす	・図書館だよりや特別展示等の広報活動や、読書週間の取組を通じ貸出数を増加させる。	・一人年間5冊以上
	・情報視聴覚機器を活用した教育活動の活性化	・情報視聴覚機器を授業、講演会、峰高祭等において効果的かつ積極的に活用する。	・〈峰高祭生徒アンケート〉「視聴覚機器の活用が充実」肯定率80%以上
	・校内LANを運用・活用した教育活動の活性化	・情報セキュリティ意識と情報活用能力を高める。	・教職員研修1回以上開催
家庭・地域連携	・広報活動の充実	・HPの更新を随時行う。 ・「峰高だより」を月1回以上発行する。	・〈保護者アンケート〉「広報活動が充実」肯定率80%以上 ・峰高だよりの発行年間12回以上
	・地域・保護者・PTAとの連携推進	・三者面談、PTA総会、PTA事業、学校祭等への積極的な参加を促す。 ・お知らせメールにより、学校の様子をタイムリーに保護者に伝える。	・〈保護者アンケート〉「家庭と担任や学校との連携」肯定率75%以上
特色ある専門学科	・工業系専門学科教育の推進	・社会人講師の積極的活用を行う。 ・積極的に作品展への応募等を行い、ものづくりへの意識、意欲を高める。 ・関連企業、関連学科へ就職、進学する生徒を育てる	・社会人活用3年生4時間以上1、2年生8時間以上
	・創造的技術者の育成	・地元企業との連携強化により高いレベルの技能習得とものづくりへの知識と意欲を高める。	